

一般会計予算決算常任委員会 全体会 審査日程

日時 平成30年6月27日

午前10時

場所 議場

1 議案第52号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第1回）

について

- (1) 各分科会長報告・質疑
- (2) 討論
- (3) 採決

2 議案第57号 平成30年度山陽小野田市一般会計補正予算（第2回）

について

- (1) 総務文教分科会長報告・質疑
- (2) 討論
- (3) 採決

■分科会長報告概要■

		平成 30 年 6 月 定例会
		一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第 52 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 1 回) について	
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項	
概 要	今回の補正の主なものは歳入では県支出金、繰入金について、歳出では教育費における指導研究費である。	
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 繰入金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 財政調整基金繰入金 1,700 万 1,000 円の増額 <li style="padding-left: 2em;">予算上の残高 29 億 5,081 万 8,000 円 ○ 県支出金 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育費県補助金 22 万 9,000 円の増額 ・ 県委託金 75 万 7,000 円の増額 ○ 諸収入 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育費雑入 23 万 1,000 円の増額 <p>【歳出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育費 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導研究費 121 万 7,000 円の増額 <li style="padding-left: 2em;">県補助事業「山口ゆめ花博参加促進事業」 <li style="padding-left: 2em;">自動車借上料 46 万円増額 <li style="padding-left: 2em;">県委託事業「小中一貫教育推進事業」 <li style="padding-left: 2em;">報償費、講師謝礼 3 万円増額 <li style="padding-left: 2em;">旅費 19 万円増額 <li style="padding-left: 2em;">県委託事業「小中学校等における起業体験推進事業」 <li style="padding-left: 2em;">報償費、講師謝礼 8 万 4,000 円増額 <li style="padding-left: 2em;">旅費、費用弁償 5 万円増額 <li style="padding-left: 2em;">需用費 40 万 3,000 円増額 <p style="text-align: right;">「花博へ社会見学に行くのは何校・何人か」との質問</p>	

	<p>に「厚陽小学校が 64 名、津布田小学校が 29 名、埴生中学校が 32 名である」との答弁</p> <p>「小中一貫教育推進事業の目的は」との質問に「小中一貫カリキュラムや地域の特徴を生かした取組を進めていくために研修を深めて体制を整えていく」との答弁</p> <p>「起業体験推進事業について、学校名となぜその学校に決まったのか」との質問に「埴生小、津布田小、埴生中、厚狭高で、その理由の一つは埴生地区にノウハウを持った団体、企業があるということ、もう一つは小中一貫校に向けての準備となるため」との答弁</p>
--	--

平成 30 年 6 月定例会
一般会計総務文教分科会

議 案 件 名	議案第 57 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 2 回）について
担 任 事 項	総務文教分科会担任事項
概 要	山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員補欠選挙執行に要する経費として歳入歳出ともに 123 万円増額するもの
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	<p>【歳入】</p> <p>○ 県支出金</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 総務費委託金 123 万円の増額 <p>【歳出】</p> <p>○ 総務費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業調整委員選挙費 123 万円の増額 <p>「無投票になった場合どうなるのか」との質問に「必要経費以外の不用額が出たら、年度内に減額の補正をする」との答弁</p>

■分科会長報告概要■

	平成 30 年 6 月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第 52 号 平成 30 年度山陽小野田市一般会計補正予算 (第 1 回) について
担 任 事 項	民生福祉分科会担任事項
概 要	歳出は、総務費がふるさと推進事業費として 230 万円の増額、民生費が社会福祉総務費として 1,586 万 7,000 円、生活保護総務費として 226 万 8,000 円の増額 歳入は、国庫支出金の民生費国庫補助金に生活困窮者自立支援費 113 万 4,000 円、諸収入の雑入に宝くじ助成金 230 万円を計上
論点又は質疑 によって明らか になった事項 など	○総務費 ふるさと推進事業費の地域コミュニティ事業助成金 230 万円の内容は、宝くじの社会貢献広報事業により、山陽小野田市ふるさとづくり協議会の綿菓子機、ワンタッチテント等購入に対し助成金を交付するもの (主な質疑) ・「応募状況は」との質問に「応募は 1 件で、問合せのみが 1 件」との答弁 ・「購入品の内訳について」との質問に、資料提出により「綿菓子機 1、ワンタッチテント 4、専用カーゴ 4、専用ウェイト 24、文字・ロゴ代 4、ベニヤテーブル 30、バルーン投光機 1、宝くじシール 70」との答弁 ○民生費 社会福祉総務費の介護保険特別会計繰出金 1,586 万 7,000 円の増額は、平成 30 年 8 月からの介護保険制度改正に伴う介護保険システム開発委託料及び平成 29 年度の診療報酬支払基金交付金の精算に伴う償還金に充てるもの

生活保護総務費のシステム改修委託料 226 万 8,000 円の計上は、生活保護基準の見直し及び国へ報告する調査項目の追加に関するもので、事業費の 2 分の 1 が国庫補助金として歳入

(主な質疑)

- ・「生活保護基準の見直し内容は」との質問に「主なものは生活扶助費基準、児童養育加算、母子加算、医療扶助の適正化、大学等への進学への支援など」との答弁
- ・「減額されるものと加算されるものの内訳は」との質問に「いずれも本年 10 月からで、生活扶助費は 3 年かけて基準からマイナス 5%以内にとどめる。母子加算は子ども一人に対し月 2 万 1,000 円から 3 年かけて月 1 万 7,000 円に減額する。月 1 万円ほどの児童養育加算は、その対象を現在の中学生までから高校生までに延長」との答弁